名古屋競馬経営改革委員会配席図

出入口

愛 知 県 職 員 等

	名古屋市	井愛 上主 幹	石 黒 畜 産 課 長	坪井事務局長愛知県競馬組合	渡部部長愛知県競馬組合	小﨑課長愛知県競馬組合
--	------	---------------	----------------------------	---------------	-------------	-------------

豊 名 中愛 星愛 久愛 若 明 古 野知 野知 技県 副 市 長 長 監 管 理者
--

中日新聞社 中日スポーツ総局 報道部長 増田 護

労働相談弁護士

西脇 明典

都市調査室 代表

髙田 弘子

名古屋商工会議所 常務理事・事務局長

古橋 利治

三菱UF J リサーチ& コンサルティング 研究開発第 2 部長 永柳 宏

名古屋大学大学院 経済学研究科 教授

小川 光(欠席)

【座 長】

中京大学

理事·総合政策学部教授 奥野 信宏

1 弥富トレーニングセンター(沿革)

昭和40年代、名古屋競馬場の内外に点在していた馬房に在厩する競走馬約1,100頭について、競馬場周辺の発展に伴い馬の歩行運動による危害又は環境衛生等の問題により、周辺住民の厩舎移転の要望が高まり、厩舎移転の検討がなされた。

昭和47年、愛知県企業局造成の海部郡弥富町(当時)の鍋田干拓東地区の76万㎡余の用地を買収、同年12月から建設工事に着手し、昭和52年2月に第1期工事が完成した。同年3月、名古屋競馬場等から人馬の移動を完了し、弥富トレーニングセンターとして開所した。

(小史)

昭和47年3月 愛知県企業局から用地買収

昭和47年12月 第1期建設工事着手

昭和49年11月 練習馬場完成

昭和50年1月 調教関係者住宅3号棟完成・厩舎、調教師住宅A4ブロック完成

(50年6月) 調教関係者住宅2・4号棟完成・厩舎、調教師住宅A3・B3・C3ブロック完成

(51年5月) 調教関係者住宅1.5号棟完成

(51年6月) 厩舎、調教師住宅A1·A2·B1·B2·B4·C1·C2ブロック完成

(52年3月) 調教関係者住宅6号棟完成

(53年1月) 厩舎、調教師住宅A5ブロック完成

昭和50年5月 騎手会館、馬診療所完成

昭和50年8月 厩務員会館完成

昭和51年5月 調教監視塔、装鞍所完成

昭和51年10月 馬輸送連絡所完成

昭和52年2月 第1期建設工事完成

昭和52年3月 人馬の移動完了

弥富トレーニングセンター開所

昭和52年4月 第2期工事着手

昭和53年1月 検疫厩舎完成

昭和54年10月 馬事会館完成

平成11年1月 坂路完成

平成12年10月 弥富場外発売所(サンアール弥富)開所

※ 平成24年8月1日現在の関係者数

合 計 270名 (調教師 38名、調教師補佐 2名、騎手 22名、厩務員 90名、家族等 118名)

※ 平成24年8月1日現在の在厩馬

合 計 485頭

2 施設の概要

	所 在 地	弥富市駒野町1番地	
	所 有 者	愛知県競馬組合	
	施工年月日	昭和55年3月31日	
	敷 地 面 積	765, 022m²	
	総事業費	約172億円(用地購入費41億円を含む)	
	練習馬場	一周 1, 100m 幅 30m(練習外馬場)	
	1+1	一周 950m 幅 20m(練習内馬場)	
弥 富	坂 路	全長 400m 幅 7m 最大高低差 3.5m	
トレーニング	厩舎	58棟 1, 160馬房 延 36, 930㎡	
センター	検 疫 厩 舎	2棟 40馬房 延 1, 079㎡	
	隔離既舎	1棟 5馬房 延 146㎡	
	調教関係者住宅	6棟 240戸 延 16, 124㎡	
	調 教 師 住 宅 (厩舎に併設)	66棟 (2階建) 延 5, 676㎡	
	厩 務 員 会 館	1棟 95室 延 4, 186㎡	
	騎 手 会 館	1棟 60室 延 2, 090㎡	
	馬事会館	1棟 延 4, 094㎡	
	所 在 地	弥富市駒野町1番地 弥富トレーニングセンター内	
	所 有 者	愛知県競馬組合	
	施工年月日	平成12年10月2日	
専 用 場 外	建物構造	鉄骨造平屋建 660.04m ²	
発 売 所	収 容 人 員	800名	
(サンアール弥富)	発 売 窓 口 数	自動発売機 6台、自動発払機 2台 計 8窓	
	設備	大型テレビ(50インチ) 2台	
		ファン用モニターテレビ(40インチ) 18台	
		客席数 120席	
	駐 車 施 設	14, 800㎡ 500台	

弥富トレーニングセンター配置図

